

令和7年度  
校外学習支援事業（利用学習）  
実施報告



仙台市富沢遺跡保存館

## 目次

I	校外学習支援事業（利用学習）の基本的な考え方・・・・・・・・	1
1	文化財普及と利用学習	
2	学校教育における位置づけ	
3	実施までの流れ	
II	参加校及び体験内容一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	2
III	報告書（実績まとめ）・・・・・・・・・・・・・・・・	3
IV	まとめと考察・・・・・・・・・・・・・・・・	6

## I 校外学習支援事業（利用学習事業）の基本的な考え方

### 1 文化財普及活動と利用学習

仙台市ではこれまで、文化財の保護・活用への理解と必要性について市民の理解と認識を深めるために、「文化財せんだい」等の各種広報誌の発行や埋蔵文化財の発掘調査時における遺跡見学会の実施など、数々の普及啓発活動を行ってきた。その成果もあり、一般に文化財に対する市民の関心は高く、また生涯学習への意欲も強い。

仙台市は平成4年に「仙台市旧石器の森・原始古代村構想」を策定した。昭和55年に保存が決定された縄文時代の遺跡である山田上ノ台遺跡と、旧石器時代の遺跡である富沢遺跡、多賀城以前の役所跡である郡山遺跡などを連携させながら、歴史教育の場としてそれぞれを整備していこうとする構想である。この構想を具現化する施設として、平成8年11月、遺跡の緊急保存を必要とした富沢遺跡に地底の森ミュージアムが開館した。以来、学校教育との連携を1つの大きな柱に掲げ、館の予算で送迎バスを借り上げ、見学や体験を中心とした学習活動を展開する校外学習支援事業を行ってきた。平成18年7月には分館として山田上ノ台遺跡に仙台市縄文の森広場が開館し、両施設を活用した校外学習支援事業が実施できることとなった。

また、平成14年度運用開始の仙台都市圏「どこでもパスポート」にはじまる、県内各圏域でのジュニアパスポート等を利用した見学も活発である。平成18年度からは「どこでもパスポート」の提示により平日も無料で入館できるようになったことで、学校が終わってから来館する児童・生徒の姿も見られる。校外学習支援事業参加の児童・生徒が家族や友人とともに再来館することも多く、本事業は学校教育との連携を促進するだけでなく、文化財に親しみ、愛護する精神を育成するきっかけとしても効果的である。

### 2 学校教育における位置づけ

学校教育の中での博物館利用については、令和2年度から全面実施された新学習指導要領の中でその必要性が述べられている。小学校学習指導要領・社会科「●第3 指導計画の作成と内容の取扱い」では、「各学校においては、地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにするとともに、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること。」「博物館や資料館などの施設の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること。また、内容に関わる専門家や関係者、関係の諸機関との連携を図るようにすること。」と記載されている。

### 3 実施までの流れ

事業の参加校は、前年度末に各学校宛に実施要項を送付し、次年度分を募集して決定している。参加決定後は、来館前に当日の活動内容や体験等について、両館それぞれに事前に打ち合わせをして校外学習支援事業計画書を提出してもらい、実施後は、事後指導の機会を利用して児童生徒の感想などをまとめていただき、校外学習支援事業報告書と一緒に提出（感想まとめ等は任意）してもらっている。実施開始時期は6月からである。これは、令和2年度からの学習指導要領の改訂により、小学校6学年の社会科の歴史学習が6月後半から始まることに合わせている。

実際の活動については、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、コロナ禍以前の収容人数にもどして実施している。

II. 参加校及び体験内容一覧

令和7年度 校外学習支援事業（利用学習事業） 実績

No.	日程		学校名	学年	人数	引率	利用した施設	
1	6月13日	金	仙台市立連坊小路小学校	6年	82	5	地底、縄文	
2	6月20日	金	仙台市立八乙女小学校	6年	91	5	地底、縄文	
3	6月24日	火	仙台市立台原小学校	6年	88	5	地底、縄文	
4	6月27日	金	仙台市立愛子小学校	6年	91	4	地底、縄文	
5	7月2日	水	仙台市立東六番丁小学校	6年	69	4	地底、縄文	
6	7月4日	金	仙台市立中田小学校	6年	94	5	地底、縄文	
7	7月8日	火	仙台市立立町小学校	6年	32	3	地底、縄文	
8	7月11日	金	仙台市立太白小学校	6年	32	3	地底、縄文	
9	7月15日	火	仙台市立向山小学校	6年	50	3	地底、縄文	
10	7月16日	水	仙台市立金剛沢小学校	6年	78	5	地底、縄文	
11	10月7日	火	仙台市立茂庭台小学校	6年	32	3	地底、縄文	
12	10月21日	火	仙台市立長町南小学校	6年	118	5	縄文	
					合計	857	50	
					総計	907		

### Ⅲ 報告書（実績まとめ）

☛参加校（全12校：小学校12校）

☛文章表記は、すべて原文のまま記載している。

1. 『利用学習に参加して、施設を活用した学習活動が期待通りできましたか？』 回答校12

A：できた	B：できたが、期待通りではなかった	C：できなかった
12	0	0

☛参加校12校中12校が「できた」という評価だった。

2. 理由をご記入ください。

○社会科の授業で、縄文時代の学習を終えたばかりでした。歴史が好きな児童も多く、興味を持って意欲的に学習をすることができました。体験することや土器や住居跡など本物を見たり、触れたりすることによって更に興味関心を高め、子供たちの記憶に残る学習ができたと思います。ワークシートにも熱心に取り組んで、展示物もよく見ていました。

○石器時代の森や縄文時代の生活の様子について具体物を通して見たり、体験したりすることができ、実感を伴った理解につなげることができた。

○児童が実際に体験することが多く、旧石器時代や縄文時代の人々の暮らしについて理解を深めることができました。

○子供たちが今後の社会の授業や地域の歴史に興味を持つ良いきっかけとなったからです。

○実際に展示施設を見ることで、教科書や資料集でイメージしていたものを具体化しながら確認することができた。竪穴住居に入ることによって実際の広さが分かったり、石器で紙を切ることで道具の使い道を想像したりすることができた。様々な体験、見学活動を通して当時の生活を想像できる手立てとなった。

○体験活動やワークブックを利用した活動が充実していて、児童が意欲的に学習に向かうことができたため。

○歴史学習の導入という状況での利用になったが、様々な体験ができたことで児童の意欲が高まった。早く歴史の学習をやりたいという声が多く聞かれた。

○児童が興味を持って担当の職員の方の話を聞き、疑問に感じたことなどを進んでメモに取ったり質問したりしている姿を見ることができたため。また、縄文土器作りや石器利用体験などの体験活動が充実していたため。

○学校での社会の授業では、写真や映像でしか、学べなかった縄文時代の様子について、興味を広げるような活動ができ、子供たちは生き生きと学習することができました。

○体験活動を通して、当時の人の苦勞などを体感することができたから。また、実際に遺跡を見たり触れたりしたことで、初めての歴史学習に対してより興味関心を喚起し、縄文・弥生時代だけでなく、旧石器時代やそれ以降の学習にも意欲的に取り組んでいる児童が多く見られるから。

○自分たちが暮らしている地域の歴史について、展示物や体験を通して学ぶことができたから。特に、机上の知識でしかなかったものを、実体験を伴った知識に変えることができたことが大きかった。

○焼き上がった自分で作った縄文土器を嬉しそうに持って帰る子供たちが満足気でした。また、勾玉づくりも初めて体験する子供が多く、楽しそうに活動する様子が見られました。

3. 『 担当として本事業に今後も参加したいと思われませんか? 』

回答校 1 2

A : 思う	B : わからない	C : 思わない
1 2	0	0

参加校 1 2 校中 1 2 校が「思う」という評価だった。

4. 理由をご記入ください。

○歴史の学習において、実際の遺跡を見たり、専門に携わっている方々のお話を聞いたりすることは、子供たちにとって大変有意義であると感じました。

○実感を伴った深い学びにつながると感じるため。

○送迎バスがあり、大変助かりました。おかげで時間等も予定通りに活動することができました。

ミュージアムや縄文の森広場の職員やボランティアの方々が、子供たちの学びに対してとても丁寧に対応してくださっていました。

○6年生の社会で歴史学習が始まる時期に合わせて、本物にふれることで効果的な学習が期待できると思ったからです。

○専門的な知識のある職員の方々の説明と体験学習のおかげで、学校の授業だけの学習よりも興味や関心だけでなく、理解も深めることができるから。社会科の学習を進めていくうえで、児童にとって貴重な経験になると思います。

○展示物などの資料が多く、教科書を利用した学習だけではわからない部分を補うことができたため。

○他の施設と比べても体験活動が充実している。活動後、児童一人一人に制作した物が残るので、よい思い出になる。2つの施設を訪れることにより、教室の授業だけでは得られない学びが多くあると感じた。

○旧石器時代・縄文時代の史料に実際に見たり触ったりすることで、教科書だけでは知ることの出来ない事象について詳しく学ぶことができたため。

○体験的な活動がとても効果的で、深い学びができる校外学習となりました。交通費の負担の面でも、とてもありがたいです。石器の体験活動では、講師の質問に対し、反応するところは良いところだと感じましたが、ざわざわとしてしまった場面もあったので改めて、児童の課題を確認する良い機会となりました。

○児童が意欲的に活動に取り組む中で、より興味深く歴史に触れることができたから。利用学習を通して、児童の学習活動への意欲が高まっていることを感じることもできたから。

○仙台市にある歴史的財産を、体験とともに学べる機会があることがすごくありがたいものだと感じた。しかし、昨今のバス費用の高騰により校外学習を削減していくしかない中で、自校で行こうと思ってもなかなか行けない状況がある。そんな中、この利用学習に参加できたことで深い学びができた。以上のことにより、またぜひ参加したいと思った。

○縄文土器を作ることを通して、社会科の歴史に興味を持つ児童が増えると思いました。

5. 館職員へのご要望やご意見、今後の利用学習事業に期待することがあればご記入ください。

○説明や子供たちの質問に対して、丁寧に対応してくださりありがとうございました。

○大変有意義な体験活動ができました。児童も「自分が旧石器時代、縄文時代で生活したら」と考えるなど、自分事として学習をすることができました。学習時期の調整が難しいとは思いますが、このような体験をどの学校も毎年できるとよいかと思えます。

○バスの時間に合わせてスケジュールを組んでいただきありがとうございました。体験活動を通してより実感的に歴史に触れられたと思います。展示見学の時間をもう少し長く取り、ワークシートでの学習が十分にできれば、一層理解が深まるのではないかと考えました。

○とても丁寧な対応をしていただき、ありがとうございました。職員の皆様のおかげで子どもたちは貴重な経験をすることができました。今後もこの事業が継続されることを願っております。

○昼食時間が短かったため、もう少し時間を確保できるとよかったです。

○職員の方々の説明が大変丁寧で、児童の活動がスムーズに進められました。また、体調を崩した児童や厳しい暑さに対しても、丁寧に対応していただきありがたく感じました。

○これからも、同様のプログラムで継続していただければと思っています。

○展示室での学びや体験活動を通して、その時代時代に関する興味をそそられるご指導をいただき、たくさん学習できたことにみんな満足して帰って参りました。また、巻物年表で旧石器時代の長さにとっても驚いていました。非常に貴重で充実した学習をさせていただき、ありがとうございました。石のアクセサリー作りも丁寧に説明していただいたので、よりわかりやすかったように思います。非常に貴重で充実した学習をさせていただき、ありがとうございました。

○縄文の森、地底の森ミュージアムともに、職員の皆さんにとってもよくしていただき、子供たちも安心して学習に取り組むことができました。クルミアレルギー対応の件でも大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 6. その他

○とても充実した見学内容でした。また見学や体験（石器体験・土器づくり体験）の内容や時間も児童の実態にあっているものでとても良かったです。ありがとうございました。

○丁寧に説明していただき、ありがとうございました。今回の利用学習を、今後の授業で生かしていきます。

○バスの手配など、交通面の補助があるのはとてもありがたいと感じた。来年度以降も継続していただけたらと思います。

○子供たちのために様々な面でのご配慮ありがとうございました。今後も積極的に施設を利用できたらと考えております。

○石器に触れる体験や、「土器づくり」の体験に集中して取り組む児童の姿に、学習の場として大変有効であると感じました。ぜひ、来年度も同様のプログラムで実施したいと思います。

○今回の利用学習で、ご尽力頂き心から感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

○今回の校外学習は社会科と総合的な学習の時間の両方の目標を持たせて、行いました。総合的な学習の時間では、仕事調べや自分の将来について考えます。仕事をする大人の動きを良く観察することや学芸員など公共施設で働く人など、たくさんの仕事に触れることができました。石器を命がけで作る大人

の本気の姿に子供たちは素直に感動していました。仕事について考えるという目標を達成することができたと思います。

○子ども達のために見学・体験コースを用意していただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、じっくり歴史を味わうことができました。見学では2グループに分かれ、それぞれの先生方からわかりやすく説明していただき子ども達も目を輝かせながら話を聞いていました。心より感謝申し上げます。

○貴重な経験をさせていただきありがとうございました。また、利用する際にはよろしく願いいたします。

#### IV. まとめと考察

##### <利用学習事業利用校数・参加人数の推移>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用校数(校)	28	13	19	21	18	16	12
参加人数(人)	1,869	1,014	1,220	1,380	1,103	883	857

##### <地底の森ミュージアムでの活動対応表>

会場	展示室(地下・1階)	研修室
内容	・遺跡の展示解説 ・ワークシートを用いた自由見学	・石器使用体験 ・年表を用いた説明

##### <縄文の森広場での活動対応表>

会場	体験活動室	展示施設
内容	・施設の紹介, 縄文時代の説明 ・主に「土製品づくり」「勾玉・石のアクセサリーづくり」体験	・屋内外展示資料解説見学

令和7年度の校外学習支援事業(利用学習事業)参加申込は、市内小学校12校で、すべての学校が予定通りの施設見学学習と体験学習を実施することができた。児童からのバス代の追加徴収もなく、先生方にも手数をかけずに行うことができたのは、非常に良かった。参加校からの報告では「歴史が好きな児童も多く、興味を持って意欲的に学習をすることができました。」「旧石器時代や縄文時代の人々の暮らしについて理解を深めることができました。」と評価をいただいた。さらに、「送迎バスがあり、大変助かりました。おかげで時間等も予定通りに活動することができました。」「交通費の負担の面でも、とてもありがたいです。」というご意見をいただいた。

さらに、「総合的な学習の時間では、仕事調べや自分の将来について考えます。仕事をする大人の動きを良く観察することや学芸員など公共施設で働く人など、たくさんの仕事に触れることができました。」

といったご感想をいただき、社会科だけでなく総合的な学習の時間での活用、自分づくり教育の一環としても活用している様子も見られた。人々の生活の様子をよく観察し、体験し、理解することによってその学習目標を達成することに近づいていると思われる。

参加校の申し込み状況をみると、低下傾向が続き、令和元年度比で半減以下となった。令和2年度の新学習指導要領や社会動向に応じた対応になっていないことが要因と考える。その一方、教員アンケートは肯定的な評価と今度の参加にも前向きな回答となっており、乖離した状況にみえる。まだまだ周知を図ることや実物に触れる学習効果を発信していくこと、社会科に限らない学習活動を加えることで時間的にも効率よく取り組めることを強調して、より多くの学校にPRしていく必要があると感じた。さらに多くの児童生徒がこの校外学習支援事業を活用できるように検討していきたい。

